

# 深谷中だより



NO. 214

令和5年 12月 8日

横浜市立深谷中学校

校長 榎田 卓央

## 実る秋

霜月から師走へと足早に移りゆく中で、深谷中では「実りの秋」を迎えるさまざまな学習活動が行われています。今年は、本当に暑い夏が長く続きました。本来であれば、9月以降は日に日に涼しさがつのり、だんだん寒くなってくるのが昨年までの季節変化でしたが、最近まで、暖かさと寒さが同居する日の繰り返しが続きました。ここに来てようやく平年並みになってきたようです。

さて、3年生は中学校生活の集大成となる来年春からの進路選択の時期を迎えました。進路選択においては、これまで中学校で学んできたことをふまえて、自分自身で決める大切な取組です。先生たちもお手伝いはしますが、決めるのは自分です。これからの長い人生の中で、決断する場面は多く出てきます。その第一歩となる中学卒業後の進路先決定です。準備は万全でしょうか。先生たちは、最後までみなさんを応援していきます。

2年生は、11月28日に総合的学習の時間で職場体験を行いました。事前学習で学んだことを、それぞれが行った職場で十分に発揮できたでしょうか。また、きっと新たな発見があったと思います。働くことの意味、それは決して経済的なものだけではなく、社会の役に立つという学びもあったと思います。事後学習での振り返りを通して、自分自身の中学卒業後の進路について考え始める良い機会となることを期待しています。

1年生も同日、社会の一線で活躍されている多くの講師をお招きしての職業講話学習でした。おうちの方以外の社会で働く方からの話は、きっと新鮮だったと思います。講師の方へのお礼の手紙を読みましたが、ふだんの授業ではなかなか聞くことのできないお話の内容に感動したとか新しい発見があったと多くの生徒が書いていました。今回の経験を大切にして、来年度の職業体験に活かして行ってほしいと思います。

各学年ともに、自分の将来像を考え目標を定め、そしてそれを実現するための大切な時間を経験しました。『実る』の次は『熟す』です。みなさん一人ひとりが、自分の『熟し』に向かってさまざまな経験を重ねる時期に来ています。

本来、「学び」というものには、新しい発見があり、今までとは違う新しい自分が創造されていくのですから楽しいものであるはずです。プロスポーツ選手が、毎日、何回も何回も練習をします。義務感だけで行っているとしたら長続きはしないし、身にもつきません。ただ単に練習をしているだけにみえますが、目標をもってその動作を繰り返す、そこには何か新しい発見があったり、少しずつ変化が生じていくのを確認できたりするから続くのだと思います。「学び」も同じことです。「こうなりたい」、「こうしたい」という明確な目標を持ち、変化していく自分、新しい自分を確認できれば、楽しくもなり続けていけると思います。

季節はかけ足で秋から冬へと移り、間もなく春を迎えます。深谷中生みんなの春が「大きく実り、熟す秋」になることを期待します。



令和5年 深谷中学校 人権標語

## きみの「フツウ」は だれかの「トクベツ」

# 令和5年度 深谷中学校 児童生徒交流会

10月25日(水)に深谷中学校では、来年4月に入学予定の深谷小、横浜深谷台小、大正小の児童を学校に招いての児童生徒交流会を開催しました。コロナ禍もあって対面では4年ぶりの開催となりました。

この日は、各小学校で給食を済ませた児童のみなさんが、時間通りに深谷中学校を訪れてくれました。初めて深谷中に入るといふ児童が多く、少し緊張した表情もみられましたが、中学校の授業を見て回るうちに、普段から良く知っている中学生のお兄さんやお姉さんの姿を発見すると、少しほっとした様子もありました。また、中学生も懐かしい小学校の先生たちと再会して、嬉しそうな様子でした。

授業を参観した後は、体育館で生徒会役員が中心になって、中学校のことをクイズを交えながら楽しく紹介してくれました。参加した小学生は、熱心に話を聞き、わからないことには質問の手を挙げるなど、積極的に臨んでいました。心身思生くんも登場して、児童から歓声も上がっていました。準備にしてくれた生徒会のみなさん、お疲れさまでした。

学校紹介の後は、お楽しみにしていた部活動見学もありました。運動部と文化部の実際の活動の様子を見学する中で、もうすでに入部する部を決めている児童も見受けられました。

この日の見学を通して、小学生のみなさんには来年春の中学校入学への不安を少しでも減らし、楽しみを増やせる機会になったことと思います。また、出迎えてくれた中学生は入学してくる後輩のために様々に準備をしてくれました。小学生に接することで、先輩として成長したと感じられた一日でした。



## 個別支援級 校外活動

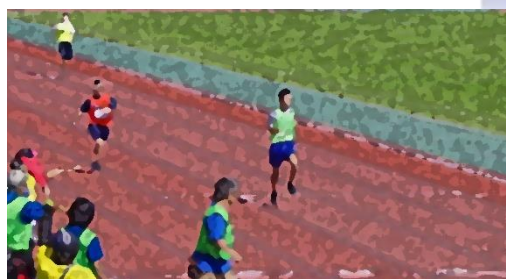
### ～合同体育祭～

10月18日(水)、19日(木)三ツ沢公園陸上競技場で、第62回横浜市立中学校・義務教育学校 個別級合同体育祭が行われました。2日間、4つのブロックに分け開催されました。深谷中学校は2日目午前中のCブロックに参加しました。

当日、途中汗ばむほど気温も上がりましたが、見事な秋晴れとなりました。深谷中は、50m走、100m走、ボール投げ、リレーに出場しました。授業の成果を生かし、それぞれの種目に臨みました。3年生の湯川航太さん、川村悠斗さん、阿部咲空さんは8人のレース中、1位と3位という結果を出すことができました。また、リレーも3年生4人で出場し8チームのレース中3位と大健闘しました。3年生は最後と

なりましたが、体育の授業でバトンパスの練習をし、その成果が出たので、手ごたえがあったようです。1年生は、「楽しかった。来年もっと頑張る」と闘志を燃やしています。

個別支援級では、体づくりとして、体育の授業内でランニングしています。頑張っている姿を見かけたら、ぜひ応援してください。



### ～戸塚区合同宿泊学習～

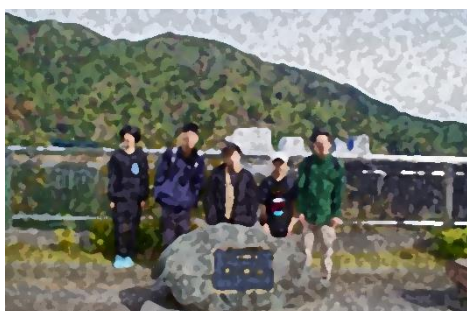
11月6日(月)、7日(火)戸塚区の中学校の個別支援学級合同の、宿泊学習が、愛川ふれあいの村で行われました。

1日目は、宮ヶ瀬ダムにバスで向かい、ダムの大きさを感じながら、愛川公園まで散策しお弁当を食べました。風は吹いていましたがぽかぽかと暖かい気候で、きれいな空気を胸いっぱい吸い込みました。

午後は、この日宿泊するふれあいの村に入村し、バランスボールサッカーをしたり、棟内でレクではカードゲームなどをして、ほかの学校の生徒と交流しました。

2日目は、あいにくの雨で、体育館や集会室などに分かれ、ドッジビーとポッチャを楽しみました。最初こそ緊張していましたが、競技に没頭していました。

雨には降られてしまいましたが、帰りには上がり、とても充実した宿泊行事になりました。



## 戸塚区教科

### 研究会

2023. 9. 27

戸塚区の市立中学校では、区内全中学校の先生方が集まって教科ごとに授業力向上のための研究を行っています。深谷中学校では、今年度、杉山梓先生が国語科の代表として2年 2組を舞台に研究授業を行いました。

副校長 白倉輝満

戸塚区の研究テーマである「子ども一人一人の学びを深める言葉の力の育成」に沿って、「行書と仮名の調和」の単元の授業を行いました。生徒たちは Chromebook を用いて、クラスの仲間に運筆の動画を撮ってもらい、自分自身で学びを調整しながら「読みやすく速く書くための行書」の技術習得のために、粘り強く取り組むことができました。

杉山 梓

## 戸塚区領域

### 研究会

2023. 9. 20

教科以外で生徒たちが関わるさまざまな取組指導の一層の向上を目指して、領域研究会も行われています。深谷中学校は、道徳教育と学級活動について研究授業と報告会が行われました。道徳は2年1組竹生田級での研究授業、学級活動は1年2組担任稲葉教諭が発表しました。

#### 【道徳】

戸塚区道徳教育研究会の研究授業校に選ばれました。校内で担任・学年主任（道徳教育推進教諭）・校長で夏休み前から準備を重ねていきました。戸塚区内からはもちろん、市内の中学校からも多くの教員が参観して、題材である水泳の荻野公介選手の挫折から立ち直るまでの話を通して、生徒たちが、『不安な時に気持ちを整える』ためにはどうしたら良いか？について、熱心に意見を交わし、お互いの考えを理解し合う貴重な時間となりました。授業終了後の教員間の振り返りの会では、生徒たちの取組と指導にとっても良い評価をいただきました。

校長 榎田 卓央

#### 【学級活動】

「学級活動取組について」というテーマで、今年度の学校全体での学級活動で取り組んでいることや、1年2組での学級活動の具体的な取り組みについての発表をしました。また、その中で得られた成果や課題についてディスカッションを行いました。また、他の学校での学級活動の取り組みについての情報交換などを行いました。

稲葉 達也